

市民の皆さんの「熱量」を写真をとおして伝えたい

地域おこし協力隊として活動をはじめて今年度で3年目、最終の年となりました。にかほ市に越してきた頃のことを思い返すと年月が過ぎるのは早いものだあと感じる今日このごろです。

改めて私の活動内容ですが、主にかほ市の風景写真を撮影して、こんなところがあるよ、きれいに星が見られるよ等、にかほ市に関する情報をSNS等を使って発信するというものになります。そのような活動をここ2年ちよつと継続的に行ってきました。



日々撮った写真はにかほ市の公式インスタグラムアカウントおよび個人のSNSアカウントにアップ

プして多くの皆さんに見ていただいています。全国各地の写真が撮られる方々から景色に関する様々な問い合わせがあったり、写真を撮らない方々からもこんなところあるんですね、旅行に行ってみたいなどの反応があり、微力ではありますがにかほ市が持っている自然の様々な表情をアピールすることができているのではないかと実感しています。また昨年从今年にかけては地域で行われる行事を撮影する機会があり、行事が持っている熱量を感じながらそこに集う人々の様々な表情を収めています。行事撮影にお邪魔することで普段は撮らない「人物」を撮るといった経験に加えて、行事から伝わる熱気で自身のモチベーションの源が刺激されるいい機会となっていますと感じ、とても素敵



な時間を毎回過ごすことができます。残り半年ほどの任期となりましたが、やることは変わらず自分が撮っている写真をとおしてにかほ市の状況であったり、空気感、熱量みたいなものを引き続き発信していきたいと思っています。

その発信が何かのお役に立てればいいというスタンスで今後も活動していきますので皆様よろしくお願ひします。



細見 竜平
Ryuhei Hosomi
出身地：京都府



日々写真家として活動している内容はSNS等に反映しておりますので是非御覧ください。
スマートフォン等でQRコードから各SNSやポータルサイトへアクセスできます。

<https://linktr.ee/rockmoveworks>

rockmoveworks.c@gmail.com



想像力と創造力

■特許庁長官賞を受賞

公益財団法人発明協会が開催する令和5年度「第46回未来の科学の夢絵画展」において、平沢小学校3年生（当時は2年生）・鈴木歌乃さんの作品「むげんにおよげる水ぎ」が特許庁長官賞を受賞しました。

この絵画展には全国から7、911点の作品が展覧され、歌乃さんの作品は小学校・中学校の部6、157点の中の第3位にあたる賞を獲得しました。ちなみに、第1位にあたる文部科学大臣賞と第2位にあたる経済産業大臣賞にはそれぞれ石川県と岐阜県の中学生が選ばれており、小学2年生だった歌乃さんの受賞がいかにもすこいかわかります。今号の表紙でも歌乃さんと作品を大きく紹介しておりますのでご覧ください。



▲鈴木歌乃さんの作品「むげんにおよげる水ぎ」

■多くの子どもたちも参加

発明協会は、子どもたちの想像力と創造力をのばすために、毎年、「全日本児童学生発明くふう展」と「未来の科学の夢絵画展」を開催しています。

昨年も市内小学校の子どもの多くが授業などで作品を制作し、発明くふう展には44作品、未来の科学の夢絵画展には370作品をそれぞれ展覧しました。

作品を制作している子どもたちの姿を想像すると、たぶん楽しさと苦しさの両方を感じつつ、ワクワクした気持ちでアイデアを形にしているんだろうなと思います。大切なのは、試行錯誤をくり返し、想像したものをついに形にしてみることにあります。

■アインシュタインとチャップリン

アインシュタインは、「想像力は知識より大切である」と言っています。アインシュタインが言いたかったのは、「知識を知識で終わらせるのではなく、その知識を想像力の源にすることができると、知識を使いこなせるかが大切である」ということだと思います。

また、チャップリンは、「人生で何よりも大切なのは創造力である」と言っています。喜劇王としてたくさんの想像力を働かせたチャップリンは、自分のアイデアを映画という形で表現しました。いま私たちが彼の愉快さを楽しむことができるのは、彼が創造した映画作品があるからです。そう考えれば、チャップリンが述べた「人生で何よりも大切なのは創造力である」の意味をすんなりと理解することができそうです。

知識や経験をもとに新しいアイデアを生み出す力を想像力とするならば、その想像力にもとづいて今までなかったものを作り出す力を創造力と言うことができます。つまり、「想像」の先にあるのが「創造」ということになります。

このように、20世紀最高の物理学者アインシュタインと喜劇王チャップリン、この二人の言葉を繋ぎ合わせれば、「想像」を「創造」することの大切さをあらためて知ることができると思います。

■世界青少年発明工夫展

おそらく私たちのだれもが「息づきを感じないで魚のように水中をずっと泳げたいな」と考えたことがあると思います。歌乃さんの素晴らしい発想は、多くの人が想像したであろうことを、大胆なタッチの絵画をもって視覚的に表現したことです。まさに頭の中の想像を絵で創造したことが評価されたのだと思います。

歌乃さんの作品は、8月に台湾で開催された「世界青少年発明工夫展」にも出展され、7月のオンラインによる事前審査の結果、世界19カ国から出展された99作品の中で見事、銀賞を受賞することができました。



にかほ市長
市川雄次

市政運営から日常の出来事まであらゆるテーマをコラムにしています。過去のコラムは市HPからご覧になれます。

